



ALLIANCEBERNSTEIN®

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/株式

Monthly Report

月次レポート

2024年3月29日現在

良好な運用実績が評価され、3つのファンド・アワードを受賞

- » アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信は、3つの主要なファンド・アワードを立て続けに受賞しています。
- » R&Iファンド大賞においては、2015年以降9年連続の受賞となります。また、第1回 ウェルズアドバイザーアワードにおいて、国際株式型(特定地域)部門で、“新NISA 成長投資枠”WA優秀ファンド賞を受賞しました。
- » これらの受賞は、良好な運用実績等が評価されたものです。今後も投資家の皆様に良好なパフォーマンスをお届けするため、運用を行ってまいります。

●Bコース



R&Iファンド大賞 2023

『優秀ファンド賞』受賞

(投資信託/北米株式グロース部門)

※2015年から9年連続での受賞です。



LSEG Lipper Fund Awards

2024 Winner
Japan

LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2024

『最優秀ファンド賞』受賞

(投資信託/株式型 米国(評価期間10年))



第1回 ウェルズアドバイザーアワード “新NISA 成長投資枠”

『WA優秀ファンド賞』受賞

(国際株式型(特定地域)部門)

●各アワードについて

「R&Iファンド大賞」について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「LSEG リッパー・ファンド・アワード」について

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。LSEG Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

ウェルズアドバイザーアワードについて

ウェルズアドバイザーアワード「新NISA 成長投資枠」WA優秀ファンド賞は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、ウェルズアドバイザーが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はウェルズアドバイザー株式会社に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内公募追加型株式投資信託のうち、2023年12月29日における「NISA成長投資枠登録のアクティブファンド」を選考対象として独自の分析に基づき、各部門別に総合的に優秀であるとウェルズアドバイザーが判断したものです。国際株式型(特定地域)部門は、選考対象ファンドのうち、同年11月末において当該部門に属するファンド239本の中から選考されました。

※ウェルズアドバイザー株式会社(旧モーニングスター株式会社)

1998年3月27日の設立以来、約25年にわたり、国内の投資信託を中心とした金融商品評価事業を行ってまいりました。2023年3月30日付で米国Morningstar,Inc.へブランドを返還し、以降、引き続き中立・客観的な立場で、投信評価事業をウェルズアドバイザー株式会社で行っております。



投資対象

アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドへの投資を通じて、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式に投資します。

基準価額の推移と運用実績

基準価額の推移

(1万口当たり)



※ベンチマーク:S&P500株価指数(配当金込み、円ヘッジベース)

※基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。

※上記のグラフ中の基準価額(分配金(課税前)再投資)およびその騰落率は、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。

税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。また、データは過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。※グラフに表示しているベンチマークは、設定日(2006年5月25日)を10,000として指数化しています。

マザーファンドのポートフォリオの状況

市場別配分

市場	比率
ナスダック	65.9%
ニューヨーク証券取引所	31.1%
現金その他	3.0%
合計	100.0%

資産配分

株式等	97.0%
(内訳) 国内株式	-
外国株式	97.0%
現金その他	3.0%

※小数点第2位を四捨五入しています。また、同一発行体で種類の異なる株式の比率は合算しています。

*組入銘柄は、当ファンドの運用内容の説明のためのものであり、アライアンス・バーンスタイン株式会社が推奨または取得のお申込みの勧誘を行うものではありません。

■ 設定・運用は

アライアンス・バーンスタイン

【商号等】アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会/

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

信託期間/決算日

信託期間 2044年6月15日まで 決算日 原則、毎年6月15日、12月15日*

*決算日が休業日の場合は翌営業日

基準価額/純資産総額

基準価額 38,656円 純資産総額 1,491億円

分配実績

1万口当たり、課税前

決算期	第31期 2021/12/15	第32期 2022/6/15	第33期 2022/12/15	第34期 2023/6/15	第35期 2023/12/15	設定来計
分配金(円)	230	0	220	80	100	3,460

*運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額(分配金(課税前)再投資)騰落率

	1か月間	3か月間	6か月間	1年間	3年間	設定来*
ファンド	2.1%	11.6%	24.7%	30.3%	22.1%	359.1%
ベンチマーク	3.3%	8.9%	19.3%	24.0%	24.0%	338.8%
円/ドルレート	0.5%	6.8%	1.2%	13.4%	36.8%	34.3%

*設定日: 2006年5月25日

※組入比率は、全て対純資産総額の比率です。

セクター別配分

セクター	比率	セクター	比率
情報技術	32.7%	現金その他	3.0%
ヘルスケア	20.0%		
一般消費財・サービス	13.6%		
コミュニケーション・サービス	12.3%		
資本財・サービス	6.0%		
生活必需品	6.0%		
金融	5.0%		
素材	1.5%		
合計			100.0%

※セクター別配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

組入上位10銘柄*

(銘柄数: 54 銘柄)

	銘柄名	セクター	国	比率
1	マイクロソフト	情報技術	米国	8.8%
2	エヌビディア	情報技術	米国	7.0%
3	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	米国	6.5%
4	メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	米国	5.3%
5	アルファベット	コミュニケーション・サービス	米国	4.9%
6	VISA	金融	米国	4.3%
7	ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	米国	3.5%
8	モンスター・ビバレッジ	生活必需品	米国	3.0%
9	コストコ・ホールセール	生活必需品	米国	2.7%
10	パーテックス・ファーマシューティカルズ	ヘルスケア	米国	2.6%
	(組入上位10銘柄計)			48.6%



ALLIANCEBERNSTEIN

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信

Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/株式

Monthly Report

月次レポート

2024年3月29日現在



9年連続受賞



LSEG Lipper Fund Awards

2024 Winner Japan

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)は左記の各賞を受賞しています。各賞の受賞の詳細はP1をご覧ください。

投資対象

アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドへの投資を通じて、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式に投資します。

基準価額の推移と運用実績

基準価額の推移

(1万口当たり)



※ベンチマーク: S&P500株価指数(配当金込み、円ベース)

※基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。

※上記のグラフ中の基準価額(分配金(課税前)再投資)およびその騰落率は、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。

税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。また、データは過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※グラフに表示しているベンチマークは、設定日(2006年5月25日)を10,000として指数化しています。

マザーファンドのポートフォリオの状況

市場別配分

市場	比率
ナスダック	65.9%
ニューヨーク証券取引所	31.1%
現金その他	3.0%
合計	100.0%

資産配分

株式等	97.0%
(内訳) 国内株式	-
外国株式	97.0%
現金その他	3.0%

※小数点第2位を四捨五入しています。また、同一発行体で種類の異なる株式の比率は合算しています。

*組入銘柄は、当ファンドの運用内容の説明のためのものであり、アライアンス・バーンスタイン株式会社から推奨または取得のお申込みの勧誘を行うものではありません。

■ 設定・運用は

アライアンス・バーンスタイン

【商号等】アライアンス・バーンスタイン株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号
 【加入協会】一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会/
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

信託期間/決算日

信託期間 2044年6月15日まで 決算日 原則、毎年6月15日、12月15日*

*決算日が休業日の場合は翌営業日

基準価額/純資産総額

基準価額 68,321円 純資産総額 11,896億円

分配実績

1万口当たり、課税前

決算期	第31期 2021/12/15	第32期 2022/6/15	第33期 2022/12/15	第34期 2023/6/15	第35期 2023/12/15	設定来計
分配金(円)	270	0	310	120	170	4,070

*運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

基準価額(分配金(課税前)再投資)騰落率

	1か月間	3か月間	6か月間	1年間	3年間	設定来*
ファンド	3.1%	20.4%	29.7%	56.0%	85.3%	715.7%
ベンチマーク	4.3%	17.7%	24.7%	49.4%	90.2%	699.4%
円/ドルレート	0.5%	6.8%	1.2%	13.4%	36.8%	34.3%

*設定日: 2006年5月25日

※組入比率は、全て対純資産総額の比率です。

セクター別配分

セクター	比率	セクター	比率
情報技術	32.7%	現金その他	3.0%
ヘルスケア	20.0%		
一般消費財・サービス	13.6%		
コミュニケーション・サービス	12.3%		
資本財・サービス	6.0%		
生活必需品	6.0%		
金融	5.0%		
素材	1.5%		
合計			100.0%

※セクター別配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS) の分類で区分しています。

組入上位10銘柄*

(銘柄数: 54銘柄)

銘柄名	セクター	国	比率
1 マイクロソフト	情報技術	米国	8.8%
2 エヌビディア	情報技術	米国	7.0%
3 アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	米国	6.5%
4 メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	米国	5.3%
5 アルファベット	コミュニケーション・サービス	米国	4.9%
6 VISA	金融	米国	4.3%
7 ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	米国	3.5%
8 モンスター・ビバレッジ	生活必需品	米国	3.0%
9 コストコ・ホールセール	生活必需品	米国	2.7%
10 パーテックス・ファーマシューティカルズ	ヘルスケア	米国	2.6%
(組入上位10銘柄計)			48.6%



運用担当者のコメント

2024年3月

市況

米国株式市場において、S&P500株価指数は上昇しました(米ドルベース)。堅調な企業決算や利下げに対する楽観的な見方などを背景に、月を通じて堅調に推移しました。米連邦準備理事会(FRB)による年内3回という利下げ見通しが維持されたことやFRB議長によるハト派発言が好感され、主要株価指数が最高値を更新しました。

当月末のS&P500株価指数(配当金込み)は、前月末比+3.8%となりました。ラッセル1000グロース指数のパフォーマンスは、同+2.5%、ラッセル1000バリュー指数は、同+5.4%となり、グロース株のパフォーマンスはバリュー株を下回りました。(指数は全て米ドルベース)

米ドル円相場は、前月末比で円安米ドル高となりました。上旬は、日銀による金融政策の正常化観測や米国の利下げ観測の高まりから、円高米ドル安となりました。中旬には、FRBによる利下げ開始時期の先送り観測に加え、日銀が大規模緩和の解除を決定したものの緩和的な金融環境維持を示したことから、円安米ドル高に転じました。その後月末にかけては、日銀による為替介入観測からほぼ横ばいで推移しました。月末の基準価額の算定に使用するレートは1米ドル=151円41銭となりました。

運用概況

Aコース(為替ヘッジあり)、Bコース(為替ヘッジなし)の基準価額は、それぞれ前月末比で上昇しました。いずれのファンドも、保有証券の株価上昇がプラス要因となりました。Bコース(為替ヘッジなし)の基準価額については、円安米ドル高もプラス要因となりました。また、3月はいずれのファンドもそれぞれのベンチマーク*を下回るパフォーマンスとなりました。

ベンチマークとの相対比較では、情報技術セクターや資本財・サービス・セクターの銘柄選択などが主なプラス要因となりました。一方、ヘルスケア・セクターや金融セクターの銘柄選択などはマイナス要因となりました。個別銘柄では、エヌビディア(情報技術)、コパート(資本財・サービス)、エドワーズライフサイエンス(ヘルスケア)などがプラス要因となった一方、ルルレモン・アスレティカ(一般消費財・サービス)、ゾエティス(ヘルスケア)、アイデックス・ラボラトリーズ(ヘルスケア)などはマイナス要因となりました。

当月は、ユナイテッドヘルス・グループ(ヘルスケア)、エヌビディア(情報技術)などを一部売却しました。

※上記の銘柄は、当ファンドの運用内容の説明のためのものであり、アライアンス・バーンスタイン株式会社が推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

* ベンチマーク:

Aコース(為替ヘッジあり): S&P500株価指数(配当金込み、円ヘッジベース)

Bコース(為替ヘッジなし): S&P500株価指数(配当金込み、円ベース)

今後の見通しと運用方針

米国では、インフレは緩やかに沈静化に向かっており、個人消費は底堅く推移しているものの、与信市場のタイト化などの影響が予想され、経済見通しは依然不透明です。個人消費は今後1年でピークアウトする可能性が高い一方、企業が販売量の減少を補うために価格を引き上げる余地は限定的と思われる。こうした局面では、強い価格決定力を持ち、利益率の維持や改善ができる企業の優位性が高まると考えます。引き続き、革新的な商品やサービスを提供することで、外部環境に左右されにくい独自の成長要因をもつ「持続的な成長企業」に投資することで長期的に安定したリターンを創出することを目指します。

(作成時点のコメントであり、今後予告なしに変更することがあります。また、将来の市場環境の変動等により、今後、運用方針を変更する場合があります。)



ファンドの特色

1. マザーファンド*を通じて、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式に投資します。
* マザーファンドは、アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドです。
2. 企業のファンダメンタルズ分析と株価バリュエーションに基づく銘柄選択を基本としたアクティブ運用を行います。
3. 「Aコース(為替ヘッジあり)」と「Bコース(為替ヘッジなし)」の2本のファンドがあります。
4. マザーファンドおよびAコース(為替ヘッジあり)の運用の一部は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー、およびその傘下の関連会社であるアライアンス・バーンスタイン・リミテッド、アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア・リミテッド、アライアンス・バーンスタイン・香港・リミテッドに委託します。
5. 「Aコース(為替ヘッジあり)」のベンチマークは、S&P500株価指数(配当金込み、円ヘッジベース)、「Bコース(為替ヘッジなし)」のベンチマークは、S&P500株価指数(配当金込み、円ベース)とします。

※資金動向、市場動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因

株価変動リスク

経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響で株価が変動し、損失を被るリスクがあります。

為替変動リスク

Aコース (為替ヘッジあり)	実質外貨建資産について為替予約取引などを用いて為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、為替相場の影響を受ける場合があります。また、対象通貨国と日本の金利差によっては、ヘッジ・コストが収益力を低下させる可能性があります。
Bコース (為替ヘッジなし)	実質外貨建資産に対し原則として為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替相場の変動の影響を受けます。

信用リスク

投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

カントリー・リスク

発行国の政治・経済・社会情勢の変化で金融・証券市場が混乱し、金融商品等の価格が大きく変動する可能性があります。

他のベビーファンドの設定・解約等に伴う基準価額の変動リスク

当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象とする他のベビーファンドでの設定・解約等に伴うマザーファンドでの組入金融商品等の売買等が生じた場合、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意事項

当ファンドは預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社において投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受取りになり、記載事項をご確認の上、投資の最終決定はご自身でご判断下さい。



ALLIANCEBERNSTEIN

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/株式

Monthly Report
月次レポート
2024年3月29日現在

ファンドの分配方針

原則として、毎決算時(毎年6月15日および12月15日。休業日の場合は翌営業日)に、以下の方針に基づき分配します。

- + 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- + 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。

収益分配金に関するご留意事項

- + 分配金額は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- + 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- + 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



ALLIANCEBERNSTEIN

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)
Bコース(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/株式Monthly Report
月次レポート
2024年3月29日現在

お申込みメモ

購入単位	1万円以上1円単位 ※投信自動積立の場合は1万円以上1千円単位、スイッチングの場合は1円以上1円単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金単位	1円以上1円単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
スイッチング	各ファンド間でスイッチングが可能です。
申込締切時間	原則、午後3時まで、販売会社が受け付けを完了したものを当日のお申込み分とします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日には、購入および換金のお申込みはできません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	証券取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(当ファンドの投資対象国における経済、政治、社会情勢の急変等を含みます。)があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入のお申込みを取消すことがあります。また、合理的な理由から信託財産に属する資産の効率的な運用が妨げられると委託会社が判断した場合は、購入のお申込みの受け付けを中止することがあります。
信託期間	Aコース / Bコース: 2044年6月15日まで (信託設定日: 2006年5月25日)
繰上償還	次のいずれかの場合は、信託を終了(繰上償還)する場合があります。AコースとBコースの受益権口数の合計が30億口を下回ったとき/受益者のため有利であると認めるとき/やむを得ない事情が発生したとき
決算日	Aコース / Bコース: 原則、毎年6月15日および12月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則、年2回の毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。
課税関係	個人の場合、原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングによる換金を含みます。)および償還時の譲渡益に対して課税されます。課税上は、株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。AコースおよびBコースは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除および益金不算入制度の適用はありません。税法が改正された場合等には、内容が変更になる場合があります。

お客さまにご負担いただく費用

お客さまには下記の費用の合計額をご負担いただきます。なお、下記の費用は、お客さまが当ファンドを保有される期間等に応じて異なるものが含まれているため、合計額を表示することができません。

直接的にご負担いただく費用

購入時手数料 ご購入代金に応じて、下記の手数料率をご購入金額(ご購入価額(1口当たり)×ご購入口数)に乗じて得た額とします。

購入代金	手数料率
1億円未満	3.30%(税抜3.00%)
1億円以上5億円未満	1.65%(税抜1.50%)
5億円以上10億円未満	0.825%(税抜0.75%)
10億円以上	0.55%(税抜0.50%)

※スイッチング手数料はかかりません。

※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

※別に定める場合はこの限りではありません。

信託財産留保額 ありません。

信託財産で間接的にご負担いただく費用

運用管理費用(信託報酬) 純資産総額に対して年1.727%(税抜年1.57%)の率を乗じて得た額とします。

※Aコースおよびマザーファンドの投資顧問会社の報酬は、委託会社の受取る報酬の中から支払われます。

※ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支払われます。

その他の費用・手数料 + 金融商品等の売買委託手数料/外貨建資産の保管等に要する費用/信託財産に関する租税/信託事務の処理に要する諸費用等

※お客さまの保有期間中その都度かかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示できません。

+ 監査費用/法定書類関係費用/受益権の管理事務に係る費用等

※純資産総額に対して年0.1%(税込)の率を上限として、信託財産より間接的にご負担いただく場合があります。かかる諸費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から委託会社に対して支払われます。

ファンドの主な関係法人

委託会社(ファンドの運用の指図を行う者)

アライアンス・バーンスタイン株式会社 www.alliancebernstein.co.jp

投資顧問会社(マザーファンドおよびAコースの運用の一部の委託先)

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー、アライアンス・バーンスタイン・リミテッド、アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア・リミテッド、アライアンス・バーンスタイン・香港・リミテッド

受託会社(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)

三井住友信託銀行株式会社

販売会社(ファンドの募集・販売の取扱い等を行う者)

株式会社三井住友銀行



ALLIANCEBERNSTEIN

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/株式

Monthly Report
月次レポート
2024年3月29日現在

【投資信託に関する留意点】

- 投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行本店等にご用意しています。
- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- 三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護の対象ではありません。
- 三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

※当資料のお取扱いにおけるご注意

- + 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した資料です。
- + 当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- + 当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。
- + 当資料に記載された意見・見通しは作成時点でのアライアンス・バーンスタイン株式会社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申し込みは



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■ 設定・運用は

アライアンス・バーンスタイン

【商号等】アライアンス・バーンスタイン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号
【加入協会】一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会